

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(排気筒の耐震性についての計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/11/25	NS2-添2-002-13	耐震(計算書)(VI-2-2-13)	VI-2-2-13 排気筒の地震応答計算書	P.33	斜材, 水平材, 主柱材の代表的な接合部の概要を示し, 境界条件を固定として扱うことの妥当性を説明すること。	今回回答 主柱材, 斜材, 水平材及び補助柱材の接合部を図に示し, 各接合部の境界条件を整理しました。 なお, 主柱材と斜材, 主柱材と水平材, 補助柱材と水平材, 補助柱材と斜材及び水平材と斜材の境界条件はピン接合であることを確認しました。	NS2-補-025-06「排気筒の耐震性についての計算書に関する補足説明資料」P.別紙1-5, P.別紙4-2~6(通し頁P.9.41~45)	コメント移動	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(排気筒の耐震性についての計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添2-002-14	VI-2-2-14 排気筒の耐震性についての計算書	P.38	図6-1を以下のとおり修正しました。 ・溶接記号を追加 ・a-a断面図のウェブプレートを点線に修正 ・a-a断面図, b-b断面図, c-c断面図のアンカー材(CT形鋼)を適正化	2023/1/16	
2	NS2-添2-002-14	VI-2-2-14 排気筒の耐震性についての計算書	P.42	図6-3を以下のとおり修正しました。 ・ベースプレート図のアンカー材(CT形鋼)を適正化	2023/1/16	
3	NS2-添2-002-14	VI-2-2-14 排気筒の耐震性についての計算書	P.44	図6-4を以下のとおり修正しました。 ・フランジプレート面のウェブプレートを点線に修正 ・アンカー材(CT形鋼)を適正化	2023/1/16	
4	NS2-添2-002-14	VI-2-2-14 排気筒の耐震性についての計算書	P.47	図6-7のベース上面リブプレートの概要図を以下のとおり修正しました。 ・ベース上面リブプレート図のアンカー材(CT形鋼)を適正化	2023/1/16	
5	NS2-添2-002-14	VI-2-2-14 排気筒の耐震性についての計算書	P.51,56~58	座金厚の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)24 (新)16	2023/1/16	
6	NS2-添2-002-14	VI-2-2-14 排気筒の耐震性についての計算書	P.56,57	No.5の誤記修正に伴い、断面係数Z及び曲げ応力度 $\sigma_b$ を修正しました。(下線部参照) (旧)Z=77600 mm <sup>3</sup> , $\sigma_b$ =76 N/mm <sup>2</sup> (新)Z=54400 mm <sup>3</sup> , $\sigma_b$ =109 N/mm <sup>2</sup>	2023/1/16	
7	NS2-添2-002-14	VI-2-2-14 排気筒の耐震性についての計算書	P.57	No.5の誤記修正に伴い、水平力W <sub>1</sub> による円周方向応力度 $\sigma_{\pi}$ 及び合成応力度 $\sigma$ を修正しました。(下線部参照) (旧) $\sigma_{\pi}$ =32 N/mm <sup>2</sup> , $\sigma$ =108 N/mm <sup>2</sup> (新) $\sigma_{\pi}$ =38 N/mm <sup>2</sup> , $\sigma$ =147 N/mm <sup>2</sup>	2023/1/16	